

令和5年度全国学力・学習状況調査結果【中学校】について

境港市教育委員会事務局

本年4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果を分析し、全国・県の結果と合わせまして本市の状況をお知らせします。

ただし、本調査により測定できる学力は一部であり、総合的な学力を表すものではありません。学習状況調査を含めた分析の結果が、子どもたちのよりよい学びをめざす指針になればと考えております。



教科の調査から 国語・数学・英語

国語	境港市	県	全国	R5全国差	R4全国差
全体	67	69	69.8	-2.8	-3.0
言葉の特徴や使い方に関する事項	67.3	66.1	67.5	-0.2	-2.2
情報の扱い方に関する事項	61.4	62.7	63.4	-2.0	-3.0
我が国の言語文化に関する事項	71.1	75.5	74.7	-3.6	-1.8
話すこと・聞くこと	76.6	80.6	82.2	-5.6	-4.5
書くこと	61.8	61.3	63.2	-1.4	-3.0
読むこと	60.3	62.3	63.7	-3.4	-5.2

＜国語＞【成果・課題となる内容】

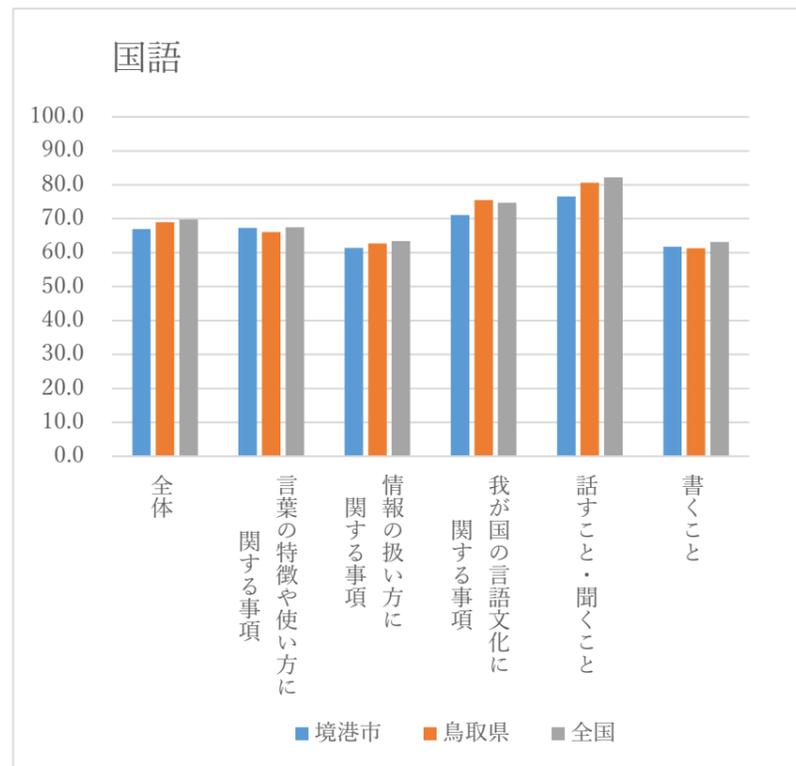
・領域「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」の正答率が令和4年度より上がり、全体的に改善傾向が見られます。「意見と根拠など情報と情報の関係について理解すること」（全国比+1.8）、「事象や行為、心情を表す語句について理解すること」（全国比+0.6）については、全国平均を上回っています。

・領域「話すこと・聞くこと」（全国比-5.6）については、引き続き課題が見られます。「話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問すること」（全国比-6.9）や「聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること」（全国比-6.5）に課題が見られます。聞いたことを基に自分の考えをまとめるには、目的を明確にして、話の内容を正確に理解する必要があります。その際、必要に応じてメモしたり、質問したりしながら聞くことが重要です。質問する際には、質問の適切な機会を捉え、話し手が伝えたいことを確認したり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問することが大切です。

・領域「我が国の言語文化に関する事項」（全国比-3.6）については、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと」（全国比-8.1）に課題が見られます。古典の世界に親しむためには、古典の文章を繰り返し音読して、その独特のリズムに気付くことが重要です。その際、歴史的仮名遣いで書かれている言葉の読み方やその規則性を確認し、現代の口語との違いについて学習することも大切です。

【生徒質問紙とのクロス集計より】

・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に肯定的に回答している生徒の平均正答率が高くなっています。また、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していますか」や「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」という質問に肯定的に回答している生徒の平均正答率が高くなっています。

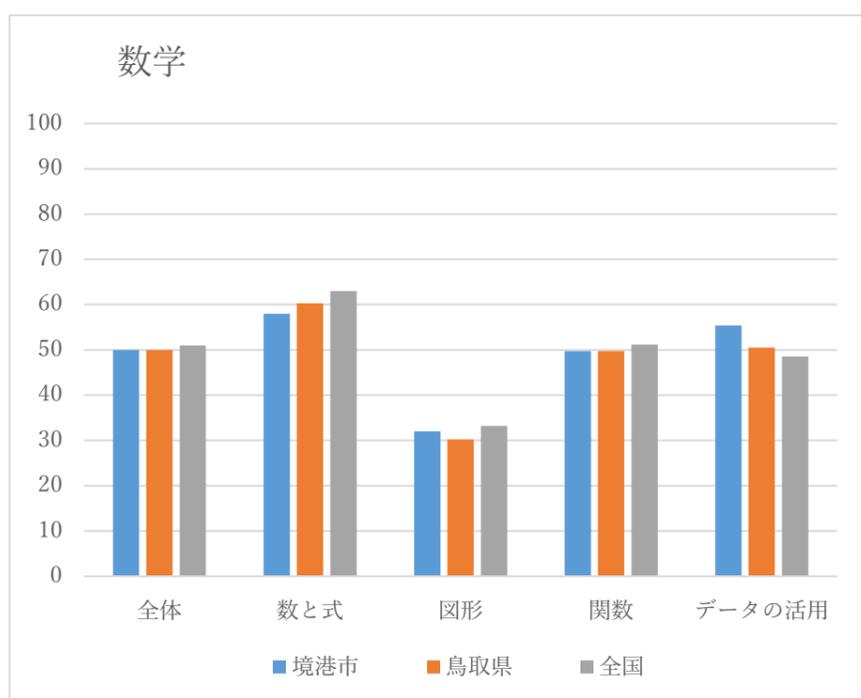


数 学	境港市	県	全国	R5全国差	R4全国差
全体	50	50	51.0	-1.0	-1.4
数と式	58.0	60.3	63.0	-5.0	-3.0
図形	32.0	30.2	33.2	-1.2	-1.2
関数	49.7	49.7	51.2	-1.5	1.4
データの活用	55.4	50.5	48.5	+6.9	0.5

<数学>【成果・課題となる内容】

・領域「データの活用」(全国比+6.9)については、全国を大きく上回っています。「度数分布表から指定された階級までの累積度数を求める問題」(全国比+16.5)や「イチヨウの葉の黄葉日までの経過日数の分布を表した箱ひげ図や表から四分位範囲を求める問題」(全国比+4.8)については、非常に良好な結果となっています。日常生活や社会の事象を考察する場面では、表やグラフなどからデータの傾向を読み取り、批判的に考察し判断することが必要です。その際、判断の理由を数学的に説明することが大切です。

・領域「数と式」(全国比-5.0)については、課題が見られます。「文字を用いた式の四則計算」(全国比-



11.6)は、全国と比べて大きく平均正答率が低くなっています。文字を用いた計算が確実にできるようにするためには、項の意味や計算の法則を確認したり、計算の過程を振り返ったりすることが大切です。また、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること」(全国比-6.8)についても全国と比べて平均正答率が低くなっています。この問題は、どんな場合でも3の倍数になることを説明する問題でしたが、日々の学習において、予想したことがどんな場合でも成り立つか文字式を使って説明したり、例えばどんな場合でも5の倍数になるにはなど、条件を変えて考えたりすることが深い理解につながると考えられます。

・領域「関数」については概ね良好な状況ではありますが、「反比例の意味の理解」(全国比-4.8)については課題が見られます。反比例の特徴を表や式などと関連付けて考え、xの値とyの値の積は一定で比例定数に等しいことを再確認する必要があります。

【生徒質問紙とのクロス集計より】

・「数学の授業の内容はよく分かりますか」や「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に肯定的に回答している生徒の平均正答率が高くなっています。授業の復習や予習を計画的に行いましょう。

・「1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」や「1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という質問に肯定的に回答している生徒の平均正答率が高くなっています。

【一人一台端末の活用】

児童・生徒用の一人一台端末に導入している「e ライブラリー for まなびポケット」がリニューアルされ、問題数が増えました。このソフトでは、一人一人の学習進度や理解度に応じて学習を進めることができ、自分が得意な学習については、さらにレベルの高い問題にチャレンジしたり、苦手な学習については、繰り返し問題にチャレンジしたり、関連する過去の学年の問題にかえて学習したりすることができます。学習時間の活用はもとより、放課後や家庭等での学習についても有効活用してください。

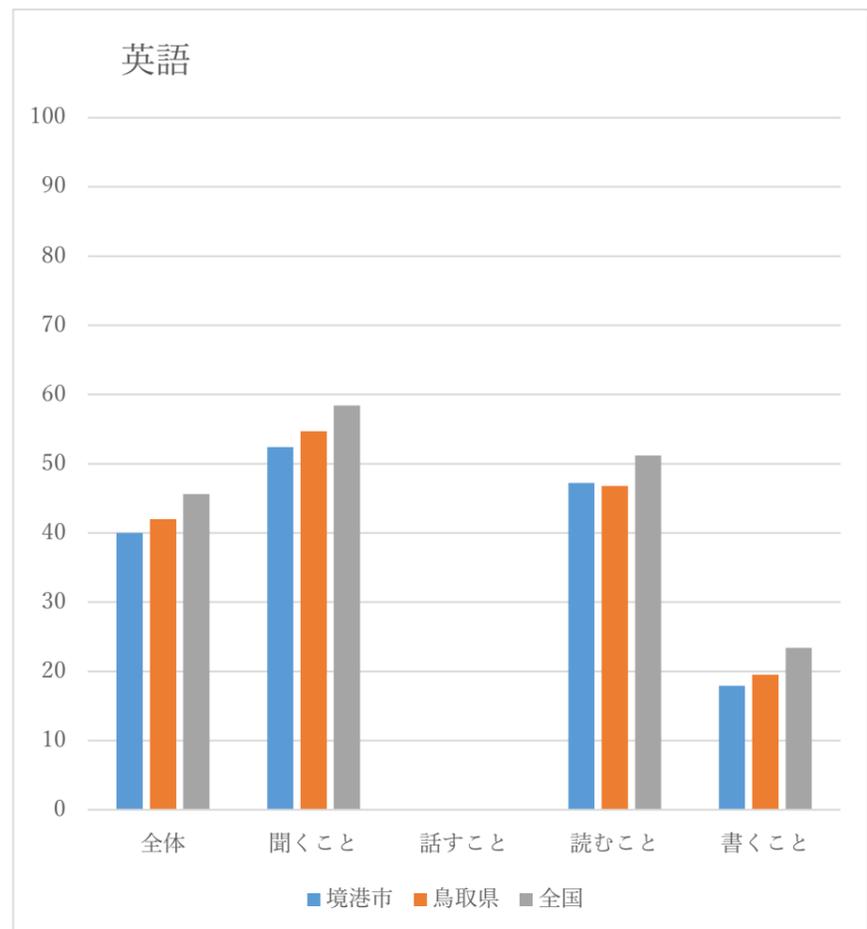
英語	境港市	県	全国	R5全国差	R1全国差
全体	40	42	45.6	-5.6	-2.0
聞くこと	52.4	54.7	58.4	-6.0	-1.6
話すこと	-	-	-	-	-
読むこと	47.2	46.8	51.2	-4.0	-0.4
書くこと	17.9	19.5	23.4	-5.5	-2.5
話すこと ※ICT端末を活用したオンラインで録音 を行う調査	13	-	12.4	+0.6	-

<英語>【成果・課題となる内容】

・領域「聞くこと」（全国比-6.0）については、全国平均を大きく下回っています。「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題」は全国平均正答率を上回る結果となりました。「ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題」に課題が見られます。学習用デジタル教科書などを活用しながら、英語を聞く活動を継続的に行う必要があります。

・領域「読むこと」（全国比-4.0）については、全国平均を下回りました。「ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する問題」は全国平均正答率を上回りました。「図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する問題」の平均正答率が45.7%で全国平均正答率を14.1%下回りました。段落ごとにその話題と主な内容、段落間の関係を意識しながら読むことで、文章全体の大まかな内容をとらえることが重要です。

・領域「書くこと」（全国比-5.5）については、「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題」に課題が見られました。場面や状況に応じて正確に英文を書くためには、文脈から適切な文の形式や時制を判断することが重要です。



【生徒質問紙とのクロス集計より】

- ・「英語の授業の内容はよく分かりますか」という質問に肯定的に回答している生徒の平均正答率が高くなっています。学習への理解が深まるように、授業の復習や予習を計画的に進めるようにしましょう。
- ・「新聞を読んでいますか」という質問に肯定的に回答している生徒の平均正答率が高くなっています。新聞を読むことや日々の読書などで活字に触れることはことばの力を育む上でとても大切です。
- ・「1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という質問に肯定的に回答している生徒の平均正答率が高くなっています。

生徒質問紙調査から ～学習習慣や生活習慣などに関する質問～



【全国より上回っている『満足いく』結果のもの(肯定的な回答の全国比較)】

- 朝食を毎日食べている (全国比+4.7)
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている (全国比+5.1)
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている (全国比+5.5)
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている (全国比+6.2)
(学校の授業の予習や復習を含む)
- 今住んでいる地域の行事に参加している (全国比+7.3)
- 地域や社会をよくするために何かしてみたい (全国比+4.0)
- 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい (全国比 +5.9)
- 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用している (全国比+22.3)
- 学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている (全国比 +4.0)



【全国より下回る等、課題がある結果のもの】

- △困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる (全国比-3.6)
- △人の役に立つ人間になりたい (全国比 -3.8)
- △友達関係に満足している (全国比 -3.3)
- △国語の勉強は好きだ (全国比 -6.9)
- △国語の勉強は大切だ (全国比-11.6)
- △国語の授業の内容はよく分かる (全国比 -8.9)
- △国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う (全国比-13.7)
- △行書の基礎的な書き方を理解している (全国比 -6.3)
- △国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえている (全国比 -9.1)
- △数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う (全国比-7.1)
- △英語の勉強は大切だと思う (全国比 -8.3)
- △英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う (全国比-6.7)
- △1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う(全国比-5.2)
- △1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う(全国比-6.7)
- △1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う (全国比-6.7)



< 成果 >

- 「朝食を毎日食べている」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の問いに肯定的に回答した生徒の割合は全国に比べ高い結果となっています。学校、家庭、そして地域が連携しながら生徒の生活リズムの改善に努めている成果です。これからも「早寝、早起き、朝ごはん」等の基本的な生活習慣を継続しましょう。
- 「家で自分で計画を立てて勉強している」と答えた生徒の割合は、全国に比べて高い結果となっています。これからも自分の目標を定め、学習でのつまずきを把握して、具体的に学習内容、勉強時間を計画しましょう。
- 地域の人との関わりを大切に生活している生徒の割合が高くなっています。いろいろな方々との出会いの中で、自分自身の成長につなげていこうとする姿勢が伺えます。



< 課題 >

- △国語に苦手意識のある生徒の割合が多いです。また、国語、数学、英語が将来社会に出たときに役に立つと思う生徒の割合も低い結果となっています。自分の可能性を広げるためにも、言語能力、計算力、思考力、理解力、発想力、表現力など様々な能力を身につけ、生涯にわたって学び続ける基礎を築いてほしいと思います。